

令和3年度
事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和4年3月
社会福祉法人 あきの会

【法人理念】

社会福祉法人あきの会は、総合的な医療・福祉サービスを提供し障がいのある方々の「地域生活支援」に貢献することを基本理念とする。

当法人は、ご利用者様の誰とも取り換えるこのできない個性を尊重し、一人ひとり光輝く存在として、「豊かな社会生活」を目指すため、次の4つの理念を掲げ支援を行います。

- 一、人のありのままに存在する価値を実感し支援を行います。
- 一、障がいのある方々やご家族と共同・共感し、その自己実現を支援します。
- 一、ひとりひとりの発達の可能性を信じて支援します。
- 一、縦軸の発達だけでなく、横軸の発達を支援し人としての豊かさを提供します。

【令和3年度 総括】

1) 新型コロナウイルス感染症発生時の事業継続

度重なる緊急事態宣言が発出された状況であったが、式番館において感染確認があり数日間事業を休止した以外は事業を継続することが出来た。

第6派においては、事業継続するも、感染急拡大を受け、生活介護及び短期入所者の休みの増加による減収、濃厚接触による職員の休業が増え出勤職員への業務負担が増加した。

2) 療養部職員の離職増加

年齢の若い介護職員・リハ職員の離職が多く発生した。療養部の管理者である役職者が病気により長期の休暇を取る事態となり、職員管理力が低下していたことに加え長期化するコロナの自粛生活によってストレス発散ができないことが大きな要因であったと思われる。

3) 医療的ケア児の支援体制強化

①小児科医週3回の非常勤、九大から週2回の派遣の体制を整備した。その他、白川医師及び福田医師を顧問に迎え、月1回の診察及び指導体制を整備した。ただし、週3回の非常勤医は1月末退職。現在、入所児童は5名であり、短期入所においても未就学児の利用が進んでおり小児診療体制の整備は不可欠である。

②児童計画相談について令和3年9月指定を受けた。

③小児看護における質の向上では、実質的な活動が進んでいない状況にあるが、小児担当窓口看護師を2名設置し受け入れ等の対応を整備した。

4) ICTの推進

①サイボウズの情報共有アプリを活用し、事務連絡及び療養部の業務連絡の円滑化された。

②利用者情報のデータベース化及び福祉請求システムであるレインボーシステムの運用を行えるようになり請求事務の簡略化が図れた。

③電子カルテ導入の検討を行った。令和4年度4月診療報酬改定により情報提供加算の必須とされ猶予期間である令和6年までに、電子カルテ導入を含めた情報システムを検討する必要がある。

I. 法人事業概要

1. 役員一覧

※令和4年3月末現在

理事	評議員
ナカムラ カナ 中村 佳奈	ハットリ ミエコ 服部 美江子
ナカガワ ノボル 中川 昇	ナガノ ヨウコ 長野 陽子
イワナガ マサヒコ 岩永 正彦	フルカワ コウキ 古川 浩輝
サトウ ミノル 佐藤 稔	イノウエ ユウジ 井上 裕治
ヤスダ タダシ 安田 忠司	キシ ヒロシ 岸 宏志
タガワ ヒデアキ 田川 秀明	キノシタ コ 木下 とし子
監事	イナトミ ユキコ 稲富 由紀子
コガ マサキ 古賀 雅章	
ヒガシナオコ 東 尚子	

2. 会議の開催

(1) 理事会

	開催年月日	出席者数/定数	議題
第一回理事会	令和3年6月5日 決議があったものとみなされた日	理事 6人/6人 監事 2人/2人	第1号議案 令和2年度事業報告及び決算報告について 第2号議案 十八親和銀行当貸枠の継続について 第3号議案 虹の家式番館空調設備更新工事入札結果について 第4号議案 評議員会開催について
第二回理事会	令和3年6月30日 決議があったものとみなされた日	理事 6人/6人 監事 2人/2人	第1号議案 理事長の選任について
第三回理事会	令和3年10月23日 決議があったものとみなされた日	理事 6人/6人 監事 2人/2人	第1号議案 虹の家式番館の管理者変更について 第2号議案 就業規則の変更について 第3号議案 評議員会の変更について
第四回理事会	令和3年11月8日(ZOOM会議)	理事 6人/6人 監事 1人/2人	理事長の職務執行状況報告
第五回理事会	令和4年3月22日 決議があったものとみなされた日	理事 6人/6人 監事 2人/2人	第1号議案 令和4年度事業計画及び収支予算案について ※8床増床に伴う改修工事及び施設整備案について 第2号議案 就業規則の変更について 第3号議案 理事1名の辞任に伴う理事候補について 第4号議案 評議員の開催について その他報告 理事長の職務執行状況報告

(2) 評議員会

	開催年月日	出席者数/定数	議題
第一回評議員会	令和2年6月21日 決議があったものとみなされた日	7人/7人	第1号議案 令和2年度事業報告及び決算報告について 第2号議案 十八親和銀行当貸枠の継続について 第3号議案 理事・監事の選任について
第二回評議員会	令和3年11月2日 決議があったものとみなされた日	7人/7人	第1号議案 就業規則の変更について
第三回評議員会	令和4年3月30日 決議があったものとみなされた日	7人/7人	第1号議案 令和4年度事業計画及び収支予算案について ※8床増床に伴う改修工事及び施設整備案含む 第2号議案 就業規則の変更について 第3号議案 理事1名の辞任に伴う理事の選任について

(3) 監事による内部監査

5月・9月 2回実施。

(4) 事業運営のための諸会議

- ① 運営会議 年 12 回定期会議開催に加え、新型コロナウイルス対策会議を適宜開催。
- ② 部門会議 会議の回数や参加人数を減らして開催。

(5) 苦情処理担当者・第三者委員会等会議

第 1 回会議 令和 3 年 11 月 16 日 第三者委員 2 名(1 名はズーム参加)

令和 3 年度前期における 3 件の苦情報告を実施する。

特に、10 月に発生した事象で保護者が納得されていない事象について第三者委員の客観的意見を求めた。

第 2 回会議 令和 4 年 3 月 29 日 オンラインにて報告

令和 3 年度後期は苦情発生なし。前回未解決事象についての進捗を報告。

時期	事業	苦情内容	対策	行政報告
5 月	医療型 短期入所	・気切カニューレのネックベルトが緩んでいた。 ・持ち物の整理整頓がされておらず乱雑に入れている。	謝罪及び現場職員への周知徹底	無
10 月	医療型 短期入所	・経鼻栄養時に自己抜去防止のためミンを装着していた。	身体拘束にあたるため行政報告。 家族と協議を行い、3 か月ミンなしで対応し評価し再度対応を検討。 結果ミンの有無にかかわらず抜去するため、ミンをつけないこととした。	有
10 月	生活介護	・生活介護利用後に自宅でヘルパー及び母が傷を発見し、本施設で転倒し出来たものであると指摘を受けた。	院内調査実施し傷が出来る事象は確認できなかった。 11 月 19 日市役所職員の聞き取り調査。市役所からは不明の連絡があった。 12 月には博多警察署刑事課より聞き取りがあり事件性はないという判断をいただいた。	有

3. 各種委員会

(1) 医療安全管理委員会

年 12 回会議・2 回 医療安全研修会開催

事故発生件数は前年比 4 件増となっている。職員の入れ替わりが激しく知識技術不足等によるものも多く人材定着が大きな課題といえる。

分類	機械機器	検査処置	誤薬	自傷他傷	受傷骨折	食事	チューブ管理	転倒転落	その他	合計
令和1年度	1		15	15	24	11	20	42	30	159
令和2年度	4		9	6	19	11	11	25	15	100
令和3年度	1	1	8	5	24	7	5	21	32	104

- (2) 院内感染・褥瘡予防委員会
年12回・年2回 感染症対策研修会開催
新型コロナウイルス感染症対策のため標準予防策・換気・環境整備等に関する整備を実施。
- (3) 虐待防止委員会
年12回会議・年1回の研修の実施・年2回虐待セルフチェックの実施
言葉遣いなど接遇面の改善に取り組んだ。
- (4) 栄養委員会
年12回会議 行事食は別に示す。まとも食提供の試みを開始。
- (5) 薬事委員会
- (6) 医療ガス管理委員会・医療機器調査委員会 研修会開催
- (7) 労働安全委員会
年12回会議・年1回 職員メンタルヘルスチェック及び7月職員健康診断の実施。
- (8) 災害対策委員会
年12回会議・毎月防災訓練開催（内2回は大規模防災・避難訓練）
高潮における医療施設避難確保計画を作成。
- (9) コンプライアンス委員会 年12回会議
- (10) 業務改善委員会 業務マニュアル見直し及び看護マニュアル更新を行った。
- (11) 個別支援向上委員会
業務マニュアル周知徹底を図る目的で、研修会を開催。
ブレースカンファの徹底を図ることでより良い補装具の提供が可能となった。
摂食嚥下機能に応じたスプーンの検討と管理方法を明確化した。

4. 事業の開設及び閉鎖

種別	事業	名称	定員	住所
公益事業	病院事業	障がい児者医療生活支援ホーム虹の家	52床	福岡市博多区
第一種社会福祉事業	医療型児童入所	医療型児童入所施設虹の家	52床	福岡市博多区
第二種社会福祉事業	療養介護	療養介護事業所虹の家	52床	福岡市博多区
	医療型短期入所	医療型児童入所施設虹の家	空床型	福岡市博多区
	日中一時支援	日中一時支援虹の家	空床型	福岡市博多区
	特定計画相談支援 障がい児相談支援	計画相談支援事業所虹の家		福岡市博多区
	生活介護	生活介護事業所虹の家	15名	福岡市博多区
	就労継続支援B型	みかんの樹	14名	糟屋郡新宮町
	就労継続支援A型		22名	
収益事業	不動産賃貸事業			福岡市東区

※虹の家式番館 令和4年1月 管理者変更 看護師 春田たけみ

※障がい児計画相談支援 令和3年9月から開始

5. 職員体制

職種	正職員		非常勤		合計
	男	女	男	女	
医師	2	0	13	4	19
看護師	2	20	1	4	27
准看護師	0	5	0	2	7
理学・作業療法士	18	7	0	0	25
介護福祉士	1	6	1	0	8
児童指導員	1	0	0	0	1
保育士	1	1	0	0	2
生活支援員	7	12	8	8	35
薬剤師	0	1	0	0	1
栄養士・調理師	1	3	0	0	4
事務	1	4	0	0	5
					134

6. 職員研修実績

(1) 内部研修会

内容	主催	講師	実施日	参加数
重症心身障害児者とは	個別支援向上委員会	在宅部 OT 國光 力	2021/4/7	34名
療育とは	個別支援向上委員会	療養部 PT 岡本 慎平	2021/4/21	31名
食品衛生について(衛生マニュアル)	栄養課・就労支援部	管理栄養士 中村 千早	2021/4/29	5名
医療安全対策について	個別支援向上委員会	療養部 NS 舟越 千鶴	2021/5/11	32名
事故を防止するコミュニケーション	個別支援向上委員会	理事長 OT 中村 佳奈	2021/5/19	27名
感染対策について	個別支援向上委員会	療養部 NS 春木 清美	2021/6/2	27名
脳性麻痺の種類と筋緊張	リハセラピスト	療養部 OT 森 俊	2021/6/8	14名
疥癬について	感染対策委員会	療養部 NS 春木 清美	2021/6/10	29名
障害者の人権と合理的配慮	個別支援向上委員会	理事長 OT 中村 佳奈	2021/6/16	34名
脳性麻痺と姿勢反射	リハセラピスト	療養部 PT 岡本 慎平	2021/6/22	10名
寝返り動作について	個別支援向上委員会	療養部 OT 大迫 久美 療養部 保育士 永藤 泰一	2021/6/24	19名
身体拘束ガイドラインについて	個別支援向上委員会	在宅部 OT 三宅 敬太 療養部 保育士 永藤 泰一	2021/6/30	26名
寝返り動作について	個別支援向上委員会	療養部 OT 大迫 久美 療養部 保育士 永藤 泰一	2021/7/1	17名
苦情対応について	個別支援向上委員会	在宅部 OT 三宅 敬太 療養部 OT 中村 篤人	2021/7/7	17名
摂食嚥下の解剖整理と発達	個別支援向上委員会	療養部 OT 大迫 久美 療養部 PT 花田 尚季 療養部 OT 山辺 楓	2021/7/6	14名
側弯について	リハセラピスト	療養部 PT 迫 洋平	2021/7/20	7名
強度行動障害について	個別支援向上委員会	就労部 OT 牛尾 拓郎	2021/7/21	22名
虐待防止について	虐待防止委員会	療養部 保育士 永藤 泰一	2021/7/29	16名
呼吸の機能解剖と管理について	リハセラピスト	療養部 PT 中川 智久	2021/8/3	9名
食事介助について	個別支援向上委員会	療養部 看護師 松尾 大地	2021/8/4	19名
補装具及び車椅子について	リハセラピスト	療養部 PT 近藤 大介	2021/8/17	7名
移乗動作介助について	個別支援向上委員会	在宅部 PT 大内田 旬	2021/8/18	17名
排泄介助について	個別支援向上委員会	療養部 PT 中川 智久	2021/9/1	22名
立上り動作について	個別支援向上委員会	療養部 OT 大迫 久美 療養部 保育士 永藤 泰一 在宅部 OT 三宅 敬太 在宅部 OT 新屋 しおり	2021/9/7	12名
口腔ケアについて	個別支援向上委員会	療養部 看護師 佐々木 駿	2021/9/15	28名
立上り動作について	個別支援向上委員会	療養部 OT 大迫 久美 在宅部 OT 三宅 敬太	2021/9/21	15名
入浴介助について	個別支援向上委員会	療養部 保育士 永藤 泰一	2021/9/29	16名
重症心身障害児者とは	個別支援向上委員会	在宅部 OT 國光 力	2021/10/6	11名
療育とは	個別支援向上委員会	療養部 PT 岡本 慎平	2021/10/20	13名
パワーハラスメント研修	労働安全管理委員会	事務部長代行 小山 美香	2021/10/14 2021/10/28	14名 16名
誤嚥発生時の対応について	医療安全管理委員会	福岡和白病院 救急認定看護師 渡邊 岳人	2021/11/8	32名
摂食嚥下障害について	個別支援向上委員会	在宅部 OT 新屋 しおり 在宅部 PT 大内田 旬 療養部 OT 津田 悟	2021/11/9	7名
医療安全対策について	個別支援向上委員会	在宅部 看護師 平田 祐美子	2021/11/10	11名
ノロウイルスについて	感染対策委員会	在宅部 看護師 平田 祐美子	2021/11/15	28名
コミュニケーションについて	個別支援向上委員会	副院長 看護師 矢野 昌子	2021/11/24	20名
感染対策について	個別支援向上委員会	療養部 看護師 春木 清美	2021/12/1	7名
ADL部会ボディメカニクスを利用した移乗動作	個別支援向上委員会	療養部 保育士 永藤 泰一 在宅部 OT 新屋しおり 在宅 OT 三宅 敬太	2021/12/7	17名
虐待防止と合理的配慮	個別支援向上委員会	理事長 OT 中村 佳奈	2021/12/22	8名
身体拘束ガイドラインについて	個別支援向上委員会	療養部 保育士 永藤 泰一	2021/12/22	10名
苦情対応について	個別支援向上委員会	療養部 OT 中村 篤人	2022/1/12	13名
強度行動障害について	個別支援向上委員会	就労部 OT 牛尾 拓郎	2022/1/19	8名
BLS研修	医療安全管理委員会	療養部 PT 岡本 慎平 療養部 PT 中川 智久 療養部 看護師 坂本 美里 療養部 看護師 岩田 紗綾佳 療養部 看護師 田中 由紀恵	2022 1月~3月	74名
排泄介助について	個別支援向上委員会	療養部 PT 中川 智久	2022/3/2	8名
移乗動作介助について	個別支援向上委員会	在宅部 PT 大内田 旬	2022/3/9	5名
口腔ケアについて	個別支援向上委員会	療養部 看護師 春田 たけみ	2022/3/16	9名
入浴介助について	個別支援向上委員会	療養部 PT 岡本 慎平	2022/3/30	5名

(2) 外部研修会

内 容	開催日	開催場所	参加者	発表
令和3年度日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会	令和3年5月20日・21日	オンライン研修	理事長 中村 佳奈 院長 岩永 正彦 事務部長代行 小山 美佳 療養部課長 中村 篤人	
福岡市人権・同和問題企業事業主研修会～ハラスメント～	令和3年7月19日～	オンライン研修	事務部長代行 小山 美佳 在宅部課長 國光 力 就労部課長 牛尾 拓郎	
令和3年度全国重症心身障害児者施設職員研修会「看護師コース」	令和3年9月9日(木)	オンライン研修	看護師 坪井 美里	
第32回重症心身障害療育学会学術集会	令和3年10月7日～	オンライン開催	理学療法士 岡本 慎平 児童指導員 萩原 琢	症例2演題
令和3年度全国重症心身障害児者施設職員研修会「栄養士・調理師コース」	令和3年10月13日	オンライン研修	管理栄養士 中村 千早 作業療法士 佐藤 由貴 作業療法士 諸星 和希	
令和3年度全国社会就労センター総合研究大会	令和3年10月28日～11月30日	オンライン配信		
福祉施設における権利擁護と虐待防止(全国社会福祉協議会)	令和3年9月29日～11月30日	オンライン配信	ビデオ研修会開催 計 57名参加	
第42回日本重症心身障害福祉協会西日本施設協議会総会及び研修会	令和3年11月19日	オンライン開催	理事長 中村 佳奈 院長 岩永 正彦 副院長 矢野 昌子 事務部長 小山 美香 療養部 中村 篤人	
令和3年全国重症心身障害児者施設職員研修会「医療技術管理コース」	R3.11.28	オンライン開催	院長 岩永 正彦 薬剤師 柏原 真理 理学療法士 岡本 慎平 追 洋平 療養部 大内田 旬 中村 篤人 中川 智久 永藤 泰一 在宅部 國光 力	ソーシャル 部門 座長
令和3年度九州・沖縄地区 医療安全に関するワークショップ	R3.11.30	オンライン開催	院長 岩永 正彦 看護師 春木 清美 理事長 中村 佳奈	
令和3年度全国重症心身障害児者施設職員研修会「施設管理研究会コース」	令和4年1月21日	オンライン開催	院長 岩永 正彦 理事長 中村 佳奈 事務部長 小山 美香 療養部 中村 篤人	
第43回九州地区重症心身障害研究会	令和4年3月	オンライン開催	療養部 津田 悟	症例1演題

7. 広報・啓発活動

(1) 季刊誌発行及びホームページ

令和3年7月 ホームページ 情報開示・年4回の季刊誌発行

(2) 実習及び施設見学

内 容	期間	人数	担当部署
福岡市立南福岡特別支援学校3年次実習	令和3年6月23日(水)	1名	生活介護
福岡市立南福岡特別支援学校2年次実習	令和3年6月30日(水)	1名	生活介護
福岡県立福岡特別支援学校高等部3年次実習	令和3年7月14日(水)	1名	生活介護
九州医療スポーツ専門学校 理学療法実習	令和3年11月	1名	外来リハ
総合学園ヒューマンアカデミー(保育実習)	令和4年2月7日(月)～2月21日(月)	1名	虹の家式番館

(3) 障害児者地域生活支援に向けた取り組み

博多区ネットワーク会議の参加・千代地区事業者連絡会の参加 3回(ズーム含む)

8. その他

(1) 施設・整備の改善

レントゲン入れ替え工事・式番館空調設備更新工事・賃貸事業物件雨漏り工事

(2) 人事管理の充実

財務管理

(3) 寄附一覧

	件数	金額
一 般	2	2,881,534
入所者家族	2	60,000
福岡地域労働者福祉推進協議会※1	1	177,300
三菱電機(株)九州支社※2	1	194,040
募金		
合 計		3,312,874
※1 みかんの樹 就労厨房機器		
※2 食器乾燥機他電気製品8台		

Ⅱ. 事業別実績報告

1. 入所事業(療養介護事業・医療型児童入所施設)

1) 令和3年度入所者月別利用数及び入退所数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院数	45	46	46	47	44	44	44	42	42	42	43	43
内児童数	3	4	4	5	4	4	4	4	4	4	5	5
入院延数	1,349	1,396	1,350	1,426	1,363	1,320	1,317	1,238	1,283	1,228	1,172	1,325
新患者		1		1					1		1	
退院数				3			2			1		

(人)

2) 令和3年度入所者の入所前居住地

博多区	東区	中央区	早良区	城南区	南区	西区	糟屋郡	北九州市	久留米市
9	8	2	8	0	5	3	4	3	1

(人)

3) 令和3年4月1日付入所者状況

○年齢及び男女比

年齢区分	歳	0~2	3~5	6~8	9~11	12~14	15~17	18~20	21~23	24~26	27~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65歳以上	合計	最低	最高
人数	男	1	1	0				0	1	2	1	3	3	2	4	2	1		1	22	2	67
	女	1	1	1				1		1	2	4	0	2	5	2			1	21	1	67

○大島分類

					(IQ)	
	21	22	23	24	25	80
	20	13	14	15	16	70
	19	12	7	8	9	50
			3名		2名	
	18	11	6	3	4	35
		1名		3名	6名	
	17	10	5	2	1	20
			2名	10名	16名	
走れる	歩ける	歩行障害	座れる	寝たきり		

○医療的ケア

医療ケア	人数
人工呼吸器	2
気管切開	7
経鼻経管栄養	14
腸瘻	3
腹膜透析	0
吸引	12
吸入	8
酸素	3
導尿	1
ストマ管理	1
合計	51

(人)

○障害区分

○その他 第三者後見 6名

区分1	0
区分2	0
区分3	0
区分4	0
区分5	2
区分6	36
区分なし	5
合計	43

(人)

4)補装具実績

	靴ヒールアップ	靴型装具	オルトップ	短下肢装具	長下肢装具	肘装具	保護帽	歩行器	車椅子	座位保持装置	
補修				1					1		
修理				2		1		1	8	5	
再支給		1							1		
新規作成	1			1	2		1		1		合計
合計	1	1	0	4	2	1	1	1	11	5	27

(件)

総括:長期化するコロナ自粛生活に加え令和3年春から療養部役職者の病気による長期休養により職員のメンタルフォローが不十分となり多数の支援員及びリハスタッフの退職を招いた。派遣職員による人的補充に加え役職者の再編成を行い年度終わりには不十分ながら人材を確保できる状況となった。リハビリスタッフを中心として、積極的に日中の離床を図るとともに、個々の機能に応じた活動を提供した。医療的ケア組には呼吸リハ及びポジショニングの強化を行い、日中活動組には食事や活動時の車椅子座位の安定や心身機能賦活のための起立訓練を積極的に導入した。令和4年2月からは、短期利用者を含め摂食嚥下評価システムを導入し、安心安全の食事提供に向けた取り組みを開始した。また、自閉傾向のある利用者に対して看護師・支援員・栄養士・リハスタッフが協働して対応を検討するなど、利用者の特性に応じたケアが徐々に充実してきている。現在児童が5名入所しており、短期利用者も併せ、障がい児の発達訓練の充実が望まれる。新型コロナウイルス対策については、第6派にて職員から感染者がでる事態となったが、施設内に広がることなく事なきを得ている。

2. 外来

1)実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者総数(延)	443	470	501	530	557	589	598	588	608	481	449	545	6,359
新患者数	10	21	7	4	5	1	5	3	6	30	31	23	146

(人)

2)補装具作成実績

NO	補装具名	新規作成(再支給)	修理	備考
1	カーシート	新規作成		
2	車椅子	新規作成		
3	車椅子	再支給		
4	下肢装具	再支給		
5	上肢装具	新規作成	3本支柱から4本支柱へ変更	修理申請無
6	下肢装具	再支給		
7	短下肢装具	新規作成		
8	短下肢装具	再支給	ベルクロ調整	修理申請無
9	体幹装具	再支給	プレーリー君 高さ調整	修理申請無
10	座位保持椅子	再支給		
11	シャワーチェア	日常生活用具		
12	滑り止めマット	日常生活用具		
13	フロアマット	日常生活用具		

総括:新型コロナウイルス感染拡大期間は、保育園や学校での感染によりリハスタッフが濃厚接触となり休まざるを得ない状況となり、リハビリ提供数が減少することとなった。

令和3年度から外来においてもブレースカンファを導入し、多職種による車椅子装具の検討を開始し、新規作成や修理など積極的に実施した。また、在宅生活を踏まえた、日常生活用具の対応を開始した。

3. 短期入所

1) 短期入所利用数(日中一時含む)

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
医療型	385	347	347	391	370	405	446	443	472	324	348	442
福祉型	211	205	192	223	214	216	208	205	219	136	136	189
延利用数	596	552	539	614	584	621	654	648	691	460	484	631

(人)

2) 短期入所登録者居住区

博多区	東区	中央区	南区	城南区	西区	早良区	那珂川市	古賀市	筑紫野市	糟屋郡	小郡市	みやま市	合計
21	25	6	18	10	23	13	1	2	3	13	1	1	137

(人)

3) 年齢及び男女別登録者数

年齢区分	歳	0~2	3~5	6~8	9~11	12~14	15~17	18~20	21~23	24~26	27~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65歳以上	合計	最低	最高
人数	男	3	8	9	1	1	2	7	10	9	7	9	3	5	4	1	0	0	0	79	2	51
	女	1	3	4	0	0	4	7	7	4	8	3	4	6	5	1	1	0	0	58	1	55

4) 重症度

区分	なし	1	2	3	4	5	6
人数	36	0	0	1	3	12	85

※なしは18歳未満

(人)

重症心身障害			重症心身障害以外		
人工呼吸器	医療的ケア	重症児	医療的ケア	身体障害	知的発達精神
13	40	64	3	12	4

(人)

重度加算Ⅰ	重度加算Ⅱ	重度加算Ⅲ		準超重症児	超重症児	
14	19	14	(人)	19	14	(人)

総括: 感染流行期間は利用者に抗原検査を実施しながら事業継続を行ってきた。

式番館にて朝の抗原検査で利用者2名の陽性が確認され2名の隔離対応職員が感染した。その他の職員の陰性を確認するまでの期間受け入れを中止した。

令和3年度延べ利用者数は7,074件であり、令和2年度の1.7倍となっている。徐々に他事業所の短期入所利用も再開しているが医療型短期入所の事業所が少なく、毎月新規利用申し込みがあり、十分に対応できていない現状にある。

4. 生活介護

1) 月別利用数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
564	532	550	556	607	617	563	557	577	443	404	460

(人)

2) 登録者居住区

博多区	東区	中央区	早良区	城南区	南区	西区	糟屋郡	筑紫郡	宮若市	古賀市	合計
10	13	4	10	7	7	8	6	1	1	1	68

(人)

3) 年齢及び男女別登録数

年齢区分	歳	18～20	21～23	24～26	27～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65歳以上	合計	最低	最高
人数	男	5	6	4	5	4	2	3	2	1	0	0	0	32	19	52
	女	4	4	2	6	8	4	3	3	1	1	0	0	36	18	55

(人)

4) 重症度

障害支援区分	1	2	3	4	5	6
人数	0	0	1	1	6	60

(人)

重症心身障害			重症心身障害以外		
人工呼吸器	医療的ケア	重症児	医療的ケア	身体障害	知的精神発達
2	18	36	4	8	0

(人)

総括: 新型コロナウイルス感染拡大時は、濃厚接触者の利用をお断りするなどの対応を行い事業を継続し、生活介護内での感染発生なく経過した。ただし、利用者数は1月2月を中心に大きく減少している。令和3年度の延べ利用者数は6,430名であり、令和2年度の1.2倍に相当する。

5. 就労支援

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みかんの樹 就労継続支援A	登録数	33	33	33	33	34	34	34	34	33	33	33	33
	延利用数	644	636	696	659	663	645	649	643	645	607	612	704
みかんの樹 就労継続支援B	登録数	19	19	18	18	20	20	20	20	22	22	21	21
	延利用数	333	318	363	345	332	330	368	363	388	352	324	404
合計	登録数	52	52	51	51	54	54	54	54	55	55	54	54
	延利用数	977	954	1,059	1,004	995	975	1,017	1,006	1,033	959	936	1,108

総括: 利用者やその家族に新型コロナ陽性者が発生したものの、事業所内のクラスターを起こすことなく部分的な事業休止のみで対応することが出来た。

授産の売り上げは徐々に改善傾向にあるものの、コロナ前の水準には達していない。

就労支援に加え生活支援を行う事が多くなっているのが現状である。家族関係・金銭問題・医療問題など対応すべき問題は多岐にわたっている。一般就労とは異なり、福祉就労では就労・生活支援を行う事が求められており、地域のネットワーク構築を含め更に生活支援の幅を広げていく必要がある。

6. 特定計画相談事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
モニタリング	18	21	17	9	22	17	13	25	14	16	19	19

総括: 登録数及びモニタリング数ともに概ね前年並みで推移しているが、困難事例が増えていると思われる。

9月より障がい児相談支援の指定を受けた。1名の依頼を受けている状況である。

7. 行事等

《行事》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設行事	入職式 (生活介護・就労)	運動会 (生活介護)		プール遊び&スイカ割 (療養・生活介護) 博多祇園祭り (生活介護)	花火大会 (療養)		七五三(療養) ハロウィン (療養・生活介護)		クリスマス会(療養) 餅つき大会 (療養・生活介護・就労)	成人式 (療養・生活介護・就労)	バレンタイン (療養・生活介護) 節分祭(療養)	ひな祭り(療養) ホワイトデー (生活介護)

《栄養課行事食》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事食		こどもの日メニュー ミニランチ4名		七夕メニュー	お盆メニュー	秋分の日メニュー	七五三お祝いメニュー(個人) ミニランチ会4名	季節の料理	冬至メニュー クリスマスメニュー	お節料理 七草がゆ 成人式お祝いbuffet 餅つきぜんまい	節分メニュー バレンタインメニュー ミニランチ会	お雑煮メニュー 春分の日メニュー ミニランチ会
	ハロウィンお菓子											
バースデイ	入所3名 生活3名	生活4名	入所3名 生活3名	入所2名 生活4名	入所3名 生活3名	入所3名 生活3名	入所1名 生活4名	入所4名 生活3名	入所4名 生活1名	入所1名 生活1名	入所2名 生活4名	入所2名 生活4名
											ミニランチ会:入所者数名でランチに出かけた気分を味わうための食事提供 お誕生日食:誕生日の利用者希望メニューを一人だけに提供	

総括:令和2年度に比べ行事活動に活気が戻ってきた。会場を分散させるなどの感染対策を行いながら利用者が楽しめる活動の提供を行った。
 コロナ前のようにご家族や地域の皆さんの交流活動は控える形となった。
 徐々にご家族と交流できる活動を導入したい。